

各 位

会 社 名	株式会社エーアイ
代表者名	代表取締役社長 吉田 大介 (コード: 4388 東証マザーズ)
問合せ先	執行役員経理グループ統括 前田 忠臣 (TEL. 03-6801-8402)

2022年3月期 第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月13日の2021年3月期決算発表時に公表いたしました2022年3月期 第2四半期累計期間の業績予想数値について、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	370	60	58	43	8.55
今回修正予想(B)	329	43	40	30	6.11
増 減 額 (B - A)	△40	△16	△17	△12	
増 減 率 (%)	△11.0	△27.9	△30.3	△28.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	360	105	105	77	15.47

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間の音声合成事業は、コロナ禍の状況が継続する中、個人の巣ごもり需要、企業や学校のテレワーク、オンライン学習対応の推進が継続していること等により、コンシューマー向けパッケージ「A. I. VOICE™」シリーズや「VOICEROID®」シリーズ、法人向けパッケージ「AITalk®声の職人®」や「AITalk®声プラス®」の販売が堅調に推移した一方で、前期は堅調に推移した防災分野が低調に推移しました。また、コンシューマー向けパッケージ「A. I. VOICE™」シリーズの新製品リリースが、一部後ろ倒しになったことも影響し、売上高については、前回の業績予想を下回る結果となりました。費用面については、コンシューマー向けパッケージ「A. I. VOICE™」シリーズの新製品リリース一部後ろ倒し、販売促進費の抑制、不要不急の移動の自粛要請に伴う出張費用の減少等により、売上原価、販売費及び一般管理費共に、発生が当初の予定よりも減少しておりますが、売上高が業績予想を下回ったことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益の全てにおいて、前回の業績予想を下回る見通しであることから、第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。

なお、2022年3月期通期の業績予想につきましては、前回発表予想数値を据え置くことといたしますが、今後の事業環境の推移や業績の進捗を注視し、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上